

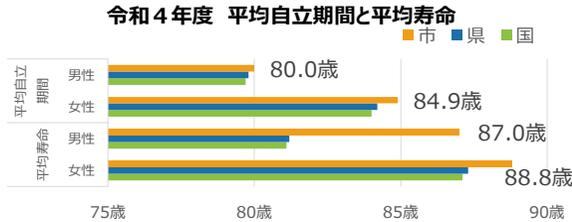
香川県 観音寺市

保健師等の人材育成を図りながら訪問対象者の選定や効果的なアプローチについて係内で協議し、丁寧な保健指導や訪問に取り組む 医薬品適正化対策



人口	57,738人 (令和5年1月時点)
国保被保険者数	11,235人 (総人口の19%) (令和5年9月時点)
後期高齢者医療制度被保険者数	10,958人 (総人口の19%) (令和5年9月時点)
主管課	健康増進課 (保健衛生部門)
事業主担当総職員数	4人 うち、保健師3人 (正規) うち、看護師1名 (非正規)
連携課	高齢介護課 (高齢部門)

【財政力指数】0.60 (令和4年度)
【管内医師会】三豊・観音寺市医師会
【管内薬剤師会】観音寺・三豊薬剤師会



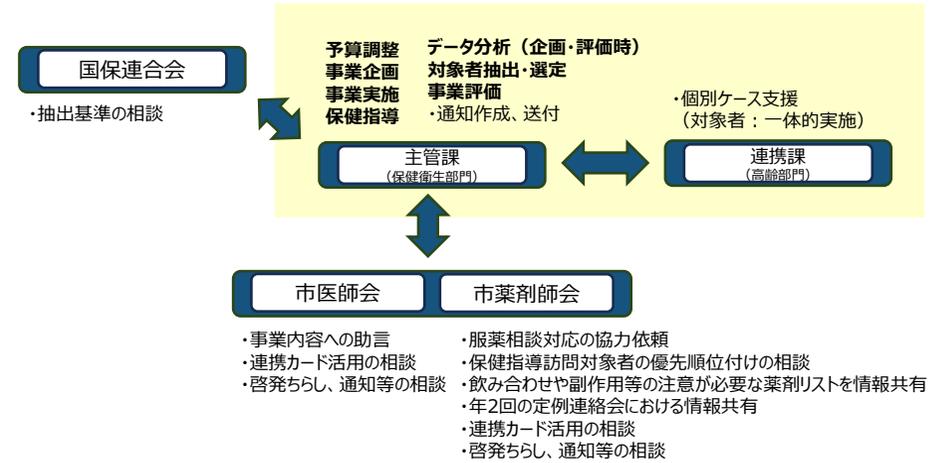
* 管内の施設数...病院：5か所、一般診療所：47か所、薬局：31か所



取組の背景・課題

- 令和4年度 第二期データヘルス計画で立てた取組の内容と、重複受診の基準や評価指標が異なり、第二期の評価が非常に難しかった。また訪問実績が少なくなっていた。
- 令和5年度 第三期データヘルス計画を策定するタイミングで、事業内容（基準や対象者）を見直し、重複・多剤服薬者に対する取組を開始

実施体制

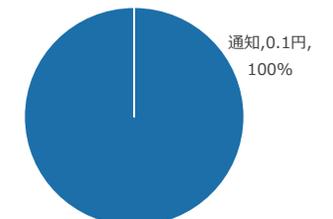


※矢印の向き：連携は双方向、委託実施は単方向

事業スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1. 選定・抽出	毎月実施											
2. 通知	毎月実施											
3. 保健指導	毎月実施											

令和5年度 被保険者1人当たりの事業費用内別 (概数)



※1人当たり費用 = 事業費用額 ÷ 事業対象者数 1

香川県 観音寺市

人口	57,738人 (令和5年1月時点)	国保被保険者数	11,235人(総人口の19%) (令和5年9月時点)
----	-----------------------	---------	--------------------------------

- 抽出基準等に基づき事業対象者を抽出後、マンパワーを踏まえて訪問対象者を優先付けし市の保健師が複数回にわたり訪問する。訪問指導を実施できなかった者に対して通知する取組
- 対象者への声かけや介入の効果的な方法について、保健師チームで共有する体制を構築。75～80歳の後期高齢者についても、国保被保険者と同じ抽出条件で対象選定し、訪問を実施

抽出基準等 (令和5年度)

保健指導	事業対象者抽出基準、抽出基準、除外基準	次のいずれかに該当する40歳以上75歳未満の国保被保険者 重複投与：①3医療機関以上で、1種類以上(薬効数)の処方を受けた者 ②2医療機関以上で2種類以上(薬効数)の処方を受けた者 多剤投与：同一薬剤に関する処方日数が1日以上かつ、前月・前々月まで遡った同一月内の処方薬剤数が15種類以上ある者
	抽出期間	診療月：毎月
	事業対象者抽出基準該当者数	重複投与：195人、多剤投与：1447人
	除外基準	精神・がん・透析・介護
	事業対象者数	重複投与：(実)16人、(延)61人、多剤投与：(実)13人、(延)142人
	事業実施者数	重複投与：(実)7人、多剤投与：(実)11人
通知	事業対象者抽出基準	保健指導対象者と同じ
	事業対象者抽出基準該当者数	重複投与：195人、多剤投与：1,447人
	事業対象者数	保健指導を実施しなかった者に毎月通知 重複投与：(実)1人、多剤投与：(実)5人
	事業実施者数	重複投与：(実)1人、多剤投与：(実)5人

評価指標 (令和5年度)

<アウトプット指標>

評価指標	目標値	実績値
重複投与者保健指導実施率 ※保健指導実施者数(実)/事業対象者数(実)	20%	50.0%
多剤投与者保健指導実施率 ※保健指導実施者数(実)/事業対象者数(実)	20%	88.9%

<アウトカム指標>

評価指標	目標値	実績値
重複：指導完了者の受診行動適正化率	50%	87.5%
多剤：指導完了者の受診行動適正化率	50%	54.5%

「評価指標」の考え方

- 県が提示した評価指標に合わせて設定
- 「指導完了者の受診行動適正化率」は、訪問対象者が訪問指導後に、訪問対象リストに挙がらなくなった人を改善と定義し評価。確認時期は翌年7月に固定
- 経年変化を把握し、今後、検証予定

取組の工夫

「抽出基準等」の考え方

- 県の設定した基準に沿って設定し、KDBから抽出する方法を国保連合会に相談
- 訪問対象者選定で迷いが生じた場合は、薬剤師会から提供された、飲み合わせや副作用の観点から注意が必要な薬剤リストを参考に選定
- 精神疾患は、服薬だけでなく生活基盤から改善が必要な場合も多いため、本取組とは別の事業で必要な支援に繋げている。

保健指導：人材育成の観点等から2人体制で実施(準備)

- 訪問の優先順位は、処方薬の内容や異なる調剤薬局処方がある者を優先する等から、保健師・看護師チームで検討し決定
- 経験年数により対応に差が生じないよう、マニュアルや「訪問評価シート」を作成。事前に保健師と看護師等で、アプローチ方法について成功例や失敗例を共有し訪問に活用

(当日)

- 事前連絡せず訪問。訪問対象にあわせて訪問回数などを調整
- 指導時は、お薬手帳を活用。持っていない場合は、質問により服薬・処方状況を探索しながら保健指導
- 課で特定健診も担当しており、受診勧奨や健診結果を活用した健康相談も併せて実施

(連携カード)

- 活用対象者：医師や薬剤師に相談することが難しそうな対象者(R5実績1件)
- 医師や薬剤師とのコミュニケーションや連携支援を目的に作成
- 飲み忘れや重複処方の情報、処方相談事項、お薬手帳の複数所持等の情報を記載
- カードを活用した場合は、受診後の状況確認のため受診後3ヶ月をあけて訪問
- 保健指導で使用する啓発チラシを、医師会、薬剤師会と連携の上、直営で作成。重複、多剤、頻回の3種類あり、いずれも、薬剤に関する情報だけでなく、健康的な生活習慣を意識できるような内容となるよう工夫

ポピュレーションアプローチ

- 医師会と薬剤師会と共同して、3種類の内容を1枚にまとめた啓発チラシを作成
- 10月の「薬と健康週間」に合わせて、広報誌にかかりつけ薬局やお薬手帳などの薬剤情報を掲載

医療関係者との連携

- 医師や薬局に対し訪問時の気になる点・共有したい内容を「連携カード」に記載し、お薬手帳に貼付し活用
- 定例連絡会(年2回程)で、薬剤師会に取組の情報共有し助言を得る。迷った時に相談出来る関係

取組の効果・波及効果

- 市医師会や薬剤師会と丁寧な事前調整のうえ事業の見直しを行ったため、団体や医療機関と良好な関係を構築し、市の取組に対する理解も得られた。
- 保健指導(訪問の対象者選定、訪問前情報収集から訪問後)の振り返りを通じて人材育成ができています。

今後の課題

- 訪問時に最新の健康状態やレセプト情報を活用するため、事前準備に時間を要している点が課題
- 多剤投与者の保健指導完了者における受診行動適正化率をより上げること

香川県 観音寺市

■ 通知はがき

訪問指導できなかった方に対して、啓発はがきを発送

薬を正しく使っていますか？

薬は効果がある一方で、**副作用**という「**リスク**」もあります。お薬手帳を活用し、適切に管理や服用をしましょう。

- お薬手帳は一人一冊**
薬の服用歴を確認し、重複やトラブルを防ぎます。情報を正しく伝えるためにも病院や薬局に必ず持参しましょう。
- まずはかかりつけ医師・薬剤師へ相談**
多くの種類の薬を飲んでいて飲み忘れや飲み間違いが起こることも、不安を感じる場合は相談しましょう。
- 自分の体に興味を持とう**
検査や薬の重複は体に負担をかけます。同じ病気や怪我で複数の病院にかかることは控えましょう。

観音寺市では、お薬手帳の活用を推奨しています。受診時には、主治医にお薬手帳を持参し、相談してください。

【お問合せ先】
観音寺市健康増進課成人保健係 ☎0875-23-3964

**おからだの調子は
いかがですか？**

このお知らせは、ここ数ヶ月の間で、月15回以上通院されてる方へお送りしています。この機会に、あなたの健康状態を見直してみませんか？

受診回数が多いと…
重複する検査や投薬により、かえって体に負担をかけてしまう心配もあります。

市では健康相談を実施しています。気になることがありましたら、お気軽にご相談ください。

【お問合せ先】
観音寺市健康増進課 ☎0875-23-3964

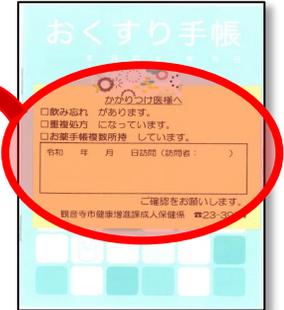
■ 連携カード

訪問時の気づきを「連携カード」に☑し、コメントを記入してお薬手帳の表紙に貼付

かかりつけ医様へ

- 飲み忘れ** があります。
- 重複処方** になっています。
- お薬手帳複数所持** しています。

ご確認をお願いします。
観音寺市健康増進課成人保健係
☎23-3964



お薬手帳

初回訪問の3か月後に改善状況確認のため再度訪問

■ 配布チラシ（訪問時、留守の方用）

令和 年 月 日 :

様

最近の体調はいかがですか？
健康状態をお伺いしたく、訪問させていただきました。
お会いできなかったのでお手紙で失礼いたします。
このお手紙をご覧いただけましたら、お手数ですが健康増進課までご連絡ください。

【連絡先】
観音寺市健康増進課
成人保健係(担当:)
☎0875-23-3964



対象者が不在などで訪問指導が出来なかった場合に、訪問した事がわかるようにチラシをポストイン

■ 薬剤師会提供の注意が必要な薬剤リスト（一部抜粋）

薬品名	添付文書の記載
リリカ	本剤による神経障害性疼痛の治療は原因療法ではなく対症療法であることから、疼痛の原因となる疾患の診断及び治療を併せて行い、本剤を漫然と投与しないこと。
ロレゼム	本剤の投与開始2週間後を目処に入眠困難に対する有効性を評価し、有効性が認められない場合には、投与中止を考慮し、漫然と投与しないこと。

薬剤師から見た薬の飲み合わせや副作用の観点から注意が必要な薬剤リストを参考に訪問の優先順位を選定

香川県
観音寺市

■ 啓発チラシ

- ・ 1枚で多剤・重複処方、頻回受診の対象者に使用できる内容を記載
- ・ 健康の基本である生活習慣についても記載

薬

を正しく使うポイント

薬は効果がある一方で、**副作用**という「**リスク**」もあります。
お薬手帳やかかりつけ薬局を活用し、適切に管理や内服をしましょう。

ポイント① お薬手帳を活用する
副作用やアレルギー歴を伝えたり、薬の飲み合わせや重複をチェックできます。
◆ 1人1冊にまとめてみましょう。
◆ 災害時や急病時のため、常に持ち歩きましょう。

ポイント② かかりつけ薬局をもつ
かかりつけ薬局とは、どの医療機関を受診したとしても、いつも薬を調剤してもらう薬局の事です。重複や飲み合わせなどチェックしてくれたり、薬歴を把握したうえでアドバイスしてくれます。
◆ 複数の医療機関で処方箋をもらっている場合に便利です。
◆ 飲み残しや使い残しの薬がある場合は、医師や薬剤師に相談しましょう。

ポイント③ 必要以上に薬を欲しがらない
不安から薬をたくさん欲しがりますが、医師の診察と処方信頼し、薬は必要な分だけもらうようにして、医師の指示通りに服用しましょう。
◆ 飲み忘れや飲み間違いのリスクにもなります。

ポイント④ セルフメディケーションを行う
セルフメディケーションとは「**自分自身の健康に責任を持ち、軽度なからだの不調は自分で手当てすること**」。(WHOセルフメディケーションの定義)
日頃から自らの健康に関心を持って、積極的に生活習慣の改善に取り組み、定期的に健康診査を受けて健康管理に努めましょう！

薬を飲み忘れない工夫

- ・ 1回分の薬を1袋にまとめてもらう。
- ・ 薬の袋に飲む日付や時間帯を書いておく。
- ・ 食卓の上など、目につく場所に薬を書いておく。
- ・ 飲む回数について、かかりつけ医に相談してみる。

ポリファーマシー（多剤服用）に注意
多種類の薬（概ね6種類以上）を併用することで、有害事象（めまい、肝機能障害、低血糖等）を引き起こし、転倒や認知症の原因になる可能性もあります。
◆ 不安や疑問があれば、かかりつけ医やかかりつけ薬剤師に相談しましょう。

適正受診

のポイント

ポイント① かかりつけ医をもつ
受診回数が多いと、重複する検査や投薬により、かえって体に負担をかけてしまう心配もあります。かかりつけ医は、病歴や体質をよく把握し日常的な診療や健康管理を行ってくれます。
◆ 気になる事は、遠慮しないでかかりつけ医に相談し、医師の指示に従いましょう。

ポイント② 市の健康相談を利用する
市では健康相談を実施しています。
気になることがあれば、お気軽にご相談ください。（連絡先は下記にあります）

まずは

健康的な生活習慣

を身につけましょう

ポイント① 規則正しい生活を送り、自然治癒力を高めましょう

- ・ 毎日体重を量る習慣を身につけましょう。
- ・ 毎日体を動かす習慣を身につけましょう。
- ・ 毎日3食栄養バランスよく食べる習慣を身につけましょう。
- ・ たっぷり睡眠をとる習慣を身につけましょう。

ポイント② 毎年、健康診査を受けて自分の体をチェックしましょう

- ・ 健康診査を受けるだけでなく、必ず健診結果を確認して生活習慣を見直しましょう。自覚症状が無い病気の芽や、動脈硬化の危険性などが分かります。
- ・ 病気のなりやすさは人により違うので、自覚症状が無く、健康に自信がある若いうちから、定期的に受診し健康を維持しましょう。

ポイント③ 正しい健康知識を身につけましょう
病気や薬などについて、信頼できる情報を集めましょう。
また、分からないことはかかりつけ医やかかりつけ薬剤師に相談しましょう。

観音寺市健康増進課 成人保健係
電話（0875）23-3964 担当（ ）

■ 訪問評価シート

- ・ 訪問グループや係でのワーキングで共有
- ・ 経験年数にかかわらず、誰でも訪問できるように響いたワードやNGワードなどを蓄積

＜ 重複 ・ 頻回 ・ 多剤 ＞

訪問日 月 / 日 ()
訪問者 (/)

地 区 ()
対象者氏名 () 男 ・ 女
年 齢 (歳)

訪 問 評 価 シ ー ト

①自己評価
0
50
100

【理由：】

②相手の反応

【】

③NGワード

【】

④響いたワード

【】

⑤訪問後、これで良かったか悩んだこと

あり ・ なし
↓

【】

⑥行動変容につながりそうか

はい

いいえ → 再訪問の必要性 有（時期：）
無

→ その他の支援の必要性 有（）
無